

令和8年度 にじいろぱれっと

～特定非営利活動法人東北の造形作家を支援する会(SOAT)～

富岡町心の復興事業計画書

取組の目的・概要、効果・特徴

【取組全体の目的・概要】 富岡町に帰還した住民と避難先住民に対しアートワークショップを行う。目的は①心身のケア②いきがいつくり③本事業の地域への緩やかな定着。開催にあたっては企画・運営に主体的に住民が参画し、造形作家・専門家が講師、サポートを行う。

【取組の効果・特徴】

- ①心のケア: 同じ興味や趣味を持つ住民同士の出会いによる交流のきっかけとなる。また、ものづくりを楽しみ、集中する時間は心のケアになる
 - ②いきがいつくり: 「地域のために働きたい」という住民力をより具現化することはいきがいつくりになる
 - ③地域への緩やかな定着: 支援者(住民)が学びや実践を経験することで、本事業の活動成果が緩やかに定着していくことが期待できる
- 特徴: 専門家の参画によってコンテンツを多様化され、幅広い住民が参加できる。また、専門家が指導・サポートを行う事は住民のモチベーションアップにつながり、専門的な経験を通して知識を得ることは住民主体の継続した活動の礎になる。

取組内容

【取組①アートワークショップ「ものづくりサロン」の開催】

実施主体: 東北の造形作家を支援する会

○開催場所: 富岡町、いわき市、郡山市

○災害/復興公営住宅集会所、富岡町総合福祉センター、郡山市(場所調整中)でのワークショップ開催(富岡町5回、いわき市3回、郡山市1回)



【取組②アートワークショップ「学びワークショップ」の開催】

実施主体: 東北の造形作家を支援する会

○開催場所: いわき市、富岡町

○専門家による指導をきっかけとする「学び」と「実践」のためのワークショップ開催(いわき市3回、富岡町3回)



次年度以降の展開

○本事業実施により生まれた専門家と住民の繋がりを必要に応じて継続できるようサポートしていく。また、令和8年度の活動を通して継続が必要と判断しうる案件がある場合には、財源も含め地域支援者、住民と実施可否について検討を行う。